

十月十七日

国交省と住民 小丸川を調査

高鍋町と木城町の小丸川水系で、国交省が住民団体と共に、河川環境を評価する「川の通信簿調査」がこのほどあったと写真。国交省や小丸川漁業協同組合（前和

則代表理事）、高鍋自然愛好会（坂田佐一郎会長）などから約15人が参加し、高鍋町の小丸大橋下の持田運動広場や木城町の高城橋右岸の河川敷など4カ所を見て回った。



参加者は「豊かな自然を感じますか」や「危険な場所がなく安全ですか」など15の点検項目が書かれたシートを片手に現場を視察。現場を管轄する町の職員らから説明を受けながら評価していた。坂田会長は「全体的に環境は良好だった」と話していた。

26.10.17